

# 大阪狭山小学校英語活動支援の会

NPO 大阪狭山小学校英語活動支援の会

代表 石井 重光

「(C)」

# 小学校英語活動について

- 大阪狭山市教育委員会の取り組み
- なぜ、小学校英語活動が始まったか
- 学習指導要領における英語活動の目的は
- 小学校英語活動で配慮していることは
- これからの英語教育の流れ
- 課題について

# 大阪狭山市教育委員会の取り組み

- 第1期 昭和62年(1987年)JETプログラムが始まる。
- 第2期 平成12年大阪狭山市英会話教育推進事業  
平成13年ALTを直接雇用(2次試験まで)  
小学校英会話教育研究会(中学校教員も参加)  
保育所・幼稚園英会話教育研究会
- 第3期 平成18年度より業務委託契約  
平成20年度より派遣事業委託  
↑(ALTが中心の授業)
- 第4期 平成21年度学級担任が主導する活動へ移行の始まり  
平成22年市民協働による支援事業の実施  
(大阪狭山小学校英語活動支援の会誕生)

# なぜ小学校で英語活動が授業に？

- 総合的学習の導入
- ・02年の学習指導要領で「総合的な学習時間」の導入
  - ・国際化→国際理解に関する学習の一貫として
  - ・英語教育が全国の学校で行われる  
(地域差・学校差)

- 英語コンプレックス
- ・一定の英語力を求めたいという国の言語政策 (英語を話せる日本人の育成)

- 英語活動導入に対して
- 賛否両論

- ・国語教育の充実
- ・言語教育の推進

# 英語活動支援の会の発足

- 平成21年2月 柳理事から呼びかけ  
J-shine(小学校英語指導者認定協議会)  
市内団体へ呼びかけ

大阪狭山市教育委員会からのお知らせ

大阪狭山市において、市民が主体となってこれからの小学校英語について考えていくための市民ネットワークが設立されます。以下に第一回目の会合の予定をご案内いたします。

多方面で活躍中の地域の方々にお集まりいただき、大阪狭山市における英語活動を一緒に考え、共につくりあげていきませんか。

まずは第一回目の会合にご参加いただき、その上で今後継続されるかどうかお考えいただければと思います。沢山の方々の参加をお待ちしています。

\* 参加希望者およびお問い合わせに関しましては、前日までに、大阪狭山市教育委員会柳先生までご連絡ください。

第一回会合の予定

1. 日時 平成21年2月13日(金) 午後2時～4時まで
2. 場所 大阪狭山市市民活動支援センター2階講堂
3. 趣旨 市民が主体となって、英語活動のあり方について企画、立案し、行政・学校との連携を図りながら、実際に英語活動を行っていく
4. 内容 これまでの市の取り組み、組織のあり方、今後の予定など
5. 連絡先 Phone:072-366-0011 ext.806 FAX:072-367-6011

大阪狭山市教育委員会  
担当:柳

平成21年3月から毎月のように会議を開催

何ができるか、現在の学校の様子は  
「英語ノート」の内容など

- ・ NPO化の依頼、市役所の姿勢が示される  
（市として財政援助を約束）  
6月に代表中林眞佐男氏に決定  
10月NPO文書作成（事務局長 石井）  
理事を選出
- ・ 12月28日 NPO認可申請が通る
- ・ 平成22年4月 法務局認証
- ・ 9月1日 後方支援開始

# ALTとJTE(支援者) 経過

- 平成22年9月 後方支援開始 JTE 12人 ALT 3人
- 平成23年4月 支援開始 JTE 14人 ALT 2人  
南第一、南第二、南第三、第七 (ALT A)  
西小、東小、北小 (ALT B)  
南中「話せる英語プロジェクト」(3年計画)
- 平成24年4月 支援継続 JTE16人 ALT 2人  
(平成23年に同じ体制)
- 平成25年、支援継続 JTE16人 **ALT 1人**  
南中「話せる英語プロジェクト」終了(平成25年末)  
前期校、後期校  
小中連携校 三中校区 (西、第七)
- 平成26年 支援継続 JTE15人 **ALT1人**



# 英語活動教材 「英語ノート」



# 英語活動教材

# 「Hi, friends!」



# 大阪狭山市の学校と支援の状況

- 現状

  - 7小学校 5年生・6年生の全学級

  - 学級担任指導

  - 担当指導(学年内・外)

  - 中学校の先生の指導 三中(西小、第七小)

- 小学校の先生の仕事と英語活動の理解の差

- 教育機器の変化とそれへの対応

  - 電子黒板、現物投影機、

## 学習指導要領に見る 外国語学習の目的は

外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

『小学校学習指導要領解説 外国語活動編』 文部科学省より

# 外国語活動の目標

- ① 外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、
- ② 外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、
- ③ 外国語を通じて、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、  
コミュニケーション能力の素地を養う。

外国語活動に求められるのは

コミュニケーションの素地



## 具体的な事項

- 指導計画の作成や授業の実施については、学級担任または外国語活動を担当教師が行うこと。
- 授業の実施に当たっては、ネイティブ・スピーカーの活用に努めるとともに、地域の実態に応じて、外国語に堪能な地域の人々の協力を得るなど、指導体制を充実させること
- 音声を取り扱う場合には、CDやDVDなどの視聴覚教材を積極的に活用すること。



## 英語教育の目標(中学校)

英語指導目標は  
聞く、話す、読む、書く (4技能)



小学校英語活動は(現在 低学年化への動き)  
聞く、話す、~~読む~~、~~書く~~ (4技能)

外国語活動における  
「担任の先生」の  
役割は？

担任は何をすすめる人

指導者？

お手本？

(子ども達を一番よく理解している)  
『進行役』！

# 学級担任が主導するのはなぜ？

## 担任は

1. 子どもの実態を一番よく知っている。
2. 外国語学習のモデル
3. 子どもの代表でもある。
4. 個別支援者になることもある。
5. 他の教科との関連を図れる。

## ALTは、アシスタントだけど英語の達人であるべき

1. 優しい言葉で言いかえる
2. ゲームやアクティビティの大きな引き出しを持っている
3. 子どもが話したがる人
4. 日本語を使わない。  
(子どもの前では絶対に)

## 小学校英語活動で配慮していること

- 英語嫌い を作らない。(文字指導はしない)
- 幼い子どもは何でも喜ぶ。 高学年は？
- 明るく、元気に！(指導者も)  
(big voice, eye contact, big gesture)
- 支援の会員は、ALT の代わりにする人！
- 後方支援者は、気配り、目配り、明るく、積極的に！
- 守秘義務 がある。
- ALTの指導は、教育委員会 を通じて行う。

## 支援の会 会員構成

- 人数(男性2人、女性 19人)指導担当 15人
  - Jshine資格者 11人
  - 海外滞在経験 18人
  - 教員免許所有者 4人
  - 居住場所  
大阪狭山市 9人、富田林 4人、大阪市 3人  
高石市 1人、堺 2人、河南 1人、神戸1人
- 授業の報告書の提出で謝金支給の対象となる

# 活動内容

- 例会・研修会（月1度）
- 講習会の開催
- 英語ディキャンプの実施（5回実施）
- 英語絵本読み聞かせ会（3回実施）



# 活動内容

- 例会・研修会（月1度）
- 講習会の開催
- 英語ディキャンプの実施（5回実施）
- 英語絵本読み聞かせ会（3回実施）





# 活動内容

- 例会・研修会（月1度）
- 講習会の開催
- 英語ディキャンプの実施（5回実施）
- 英語絵本読み聞かせ会（3回実施）



# 活動内容

- 例会・研修会（月1度）
- 講習会の開催
- 英語ディキャンプの実施（5回実施）
- 英語絵本読み聞かせ会（3回実施）



# 私たちから見た今後の課題

- ALTの適切な配置  
（せめて年間配置へ……どのような子どもを育てたいか）
- 私たちと学校の研修会の連携
- 各学校は単年度体制から総合計画へ
- 小・中連携の密接な取り組み
- 今後の市民活動  
無償ボランティアから有償への充実  
自宅ですいている仕事がある  
（案 NPO総合事務所の開設）
- 低学年への導入 （対応の仕方）
- 私立中学入試に英語を入れてはならない。

英語好きな子どもが育つように支援します！